

**わた部で
藍染め計画のすくも作り始動!**

2月某日、臼井地区の鮭川和行さんの農業用ハウスに、わた部メンバーが集合し、「すくも」作りに挑戦しました。昨年まで比較的安易な藍の生葉染めを行ってきた「わた部」、今年は初の本藍染めを計画。そのため、まず藍の葉を発酵させた「すくも」を作らなければなりません。お父様の代まで紺屋（藍染業）をしていた鮭川さん。小山のように積まれた発酵中の藍を見た記憶があり、「堆肥のようだった」といいます。乾燥葉に水分を与えてよく混ぜ、衣装ケース二つ分の「すくも」を仕込み終了!



子ども部員もがんばりました!

※「すそみろく」は、平成24年度食と地域の交流促進対策交付金による助成をいただいています。

となること。この夏には深い藍色に出会えるでしょうか!?

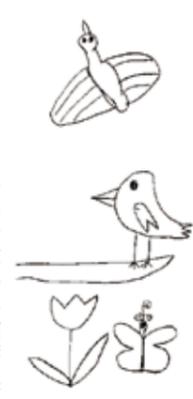
横井久美（六所地区）

神郡を桜の里に

2月20日、神郡地区に桜の苗木70本が贈られて来ました。桜の苗木を育て、全国に配布する活動をしている公益財団法人「日本花の会」から、菊地健一さん（神郡地区）のお力添えによるものです。早咲きでピントの美しい「越の彼岸」30本、八重桜「二葉」40本の桜は、田井小学校東側土手・市営駐車場周り・神郡池の周辺など数箇所に十数本ずつ植える予定です。

何年か後の春、すそみの田井に桜の花が咲き誇り、美しい風景を作ってくれることでしょう。筑波山を背景に桜の里となる光景を描きながら、3月10日午前9時より地区の人々が力を合わせ植え付けました。皆で桜の成長を楽しみながら見守って参りましょう。

飯田一男（神郡区長）



イラスト・ひろせかれん（田井小学校1年）

再注目! 「六所の滝」



水音も涼しげな六所の滝

数年前より筑波山麓では近隣の個人所有の森林整備を行って来ました。この時に森林の河川の上流に名無しの滝がみつかりましたが、滝周辺も竹が倒れ荒れていました。そこで倒れた竹の伐採及び周辺整備を進めました。こうして注目を集めた「六所の滝」。命名は平成22年7月15日。六所大仏より筑波山方向を向くと宮山（125m）が見え、直下の六所皇大神宮跡に「滝まで200m」の看板があります。最近では、六所皇大神宮の参拝に來たついでに滝見学する人や、滝見学を主体に來る人が多くなっています。

これから春、夏と季節が進むにつれて涼が恋しくなりますね。さわやかな水音を聞きながら一時を過ごしてはいかが? また、脚力に自信のある方は、約40分で白滝まで行くこともできます。白滝から白滝神社への登り石階段も整備されました。どうぞ楽しんでください。

松崎 治（六所地区）

**ふるさとに触れる・楽しむ
くなかのじょう山里テーマパークを訪れて**

1月30日晴天。筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会の視察研修で「なかのじょう山里テーマパーク部会」を訪ねました。

中之条町は群馬県北西部に位置し、人口約1万8千人、美しい自然と四万温泉など11ヶ所の温泉がある、観光業と農業の町です。都心部からも近く、里山の自然や景観、農業や伝統文化の交流体験を展開。「親戚の家を訪れるような普段着の交流をしています」と話す会長の佐藤仙治さん。その言葉どおり、あたたかなおもてなしの心にあふれた中之条町。筑波山麓もよく似た環境にあります。「自分たちも一緒に楽しみながら」

を大切に地域資源を発掘活用し、先人たちの暮らしを継承する姿勢にとっても共感しました。お昼は山里体験の人気メニュー、「自家製窯で焼くピザ作り」を体験。会員の方々がたくさん駆けつけてくださり、青空の下、棚田を眼下に熱々ピザをほおぼりました。こちら側から熱心にピザ窯のつくり方の質問がありました。筑波山麓でもメニューが増えるかも? 午後は、天皇・皇后両陛下も訪問されたという登坂昭夫さんの「登坂工房」を視察。日本一と評価される「天蚕農家」の登坂さん。織り上がった布やシヨールの美しい色に、思わずため息。こちらからのたくさん質問にも、ひとつひとつ丁寧に説明して下さいました。



あつあつピザが焼きあがりました!



筑波山の山麓一帯を「すそみ」と名づけました
第27号（平成25年3月5日）
発行・すそみろく編集委員会
TEL029-866-1122（田井の里地域づくり愛好会・森田）
TEL029-863-5151（NPO法人つくば環境フォーラム・田中）



登坂さんから天蚕について説明をいただいています

登坂さんによれば、養蚕農家から天蚕農家への転業は大変な苦労があったそうです。一緒に始めた5軒のうち、今でも続けているのは登坂

神郡塾たより
母の里山つくばが主催する「神郡塾（青谷洋治塾長）」では、4月14日（日）に開校一周年記念講演会が行われます。ゲストは「第34回少年の主張」全国大会で、「審査委員長賞」を受賞した山野邊のどかささん。美六山荘（つくば市白井六所）にて開催予定です。
【問】029-866-1122 森田源美

●編集を終えて……
交流を通じて、同じような思いを持って各地で活動するたくさんの方がいることに元気づけられました。筑波山麓の里山での暮らしの知恵やすばらしさを伝えるため、これからも楽しく活動します。ご一緒にいかがでしょうか。

すそみサポーター 敬称略

筑波山神社	つくば市筑波
武平ファーム	つくば市小田
出口正義	土浦市
(株) 中野	つくば市花畑
母の里山つくば	

※協賛会員「すそみサポーター」募集中! 103000円

デザイン・小沢陽子（漆所地区）

私たちが応援しています!



さんのみ。軌道にのるまでの道のりは長く、「今やっと、枯れ木に桜が咲いたようです」という言葉が印象的でした。手入れの行き届いたクヌギ畑にも案内していただき、大変貴重な視察となりました。また家族で訪れたいと話す会員の声もありました。お世話になった皆様、ありがとうございました! 木村美希（はんでん屋）

天蚕って?
一般的に「養蚕」というと家の中で蚕を飼う「家蚕（かさん）」の事をいいます。「天蚕（てんさん）」は「ヤマユガ」の幼虫を野外で飼うもの。家蚕は桑で飼育しますが、天蚕はクヌギやコナラの木で育ちます。幼虫や繭はエメラルドグリーンに輝き、繊維のダイヤモンドともいわれ、古くから自生の山繭を集めて繊維が作られてきましたが、その希少性から大変珍重され高価なものだそうです。今、日本で天蚕が行われているのは、本当にわずかです。